

第12回

川でつながる発案の

かいざいほうこく
開催報告

川でつながる発案の



- 平成29年2月12日(日)
- 和光市立第三小学校 体育館

新河岸川流域川づくり連絡会
新河岸川流域総合治水対策協議会



開催概要

趣旨

新河岸川流域では、総合治水対策や水循環再生の一環として行っている流出抑制施策や自然環境の保全などの取り組みやいい川づくりに向けた取り組みに関して、行政や市民団体、流域住民が情報・意見交換をする場として、「新河岸川流域川づくり連絡会」を開催しています。川でつながる発表会では、「新河岸川流域川づくり連絡会」の活動の一環として、流域内の小学生から大学生までが行った、治水や水環境を対象にした水にまつわる様々な学習・研究、ボランティアなどの活動の成果を発表していただいています。この取り組みは、学生たちが感じたり、考えたりしたことを知り、様々な世代が交流や意見交換を行うことで、河川に関する取り組みに対して一人ひとりができることを考えるきっかけをつくり、総合治水や水循環再生の取り組みをより一層普及させていくことを目的として行っています。

開催日：平成 29 年 2 月 12 (日) 10:25 ~ 16:00

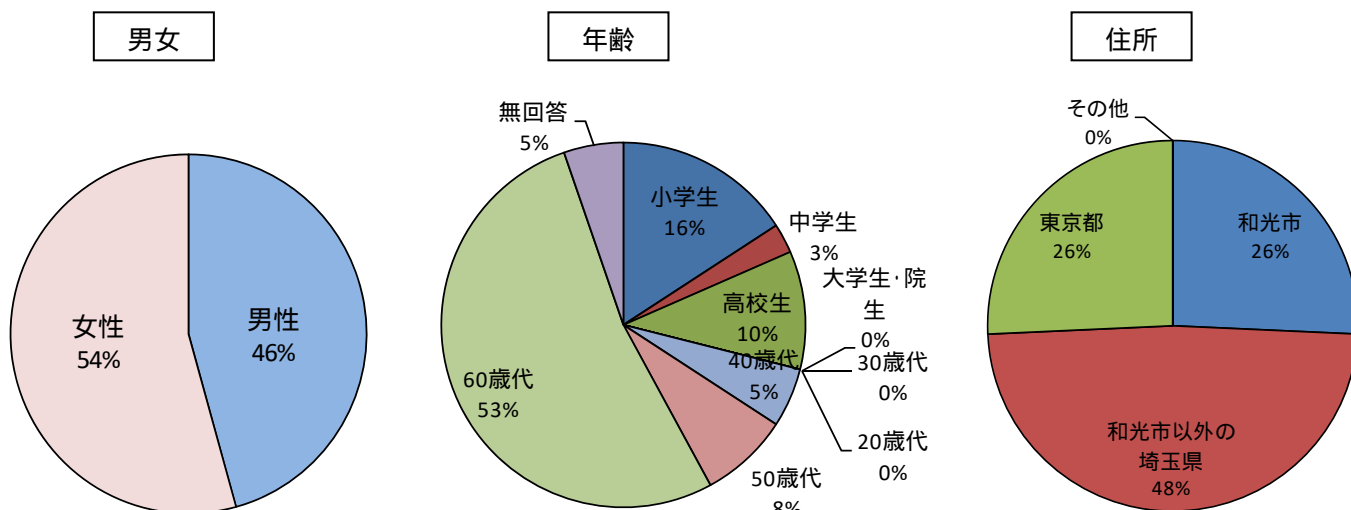
開催場所：発表会会場・交流会会場 和光市立第三小学校

主催：新河岸川流域川づくり連絡会
新河岸川総合治水対策協議会

参加人数：約 80 人

参加者構成比：

n=35 (アンケート回答者)





当日プログラム

時間	内容	当日の様子
10:15	受付	
10:25	開会挨拶	午前の部（現地見学会）開会に先立ち、荒川下流河川事務所調査課長より「発表会が川に関する色々なことを考えるきっかけになれば良いと思います。本日は一日よろしくお願ひいたします。」という挨拶がありました。
10:30	現地見学会	白子川と流域の水環境を良くする会の方による案内のもと、調節池、神社、湧水地など、白子川における総合治水対策・水循環の歴史に関する現地見学会を行いました。県の方より総合治水対策、市の方より市民緑地の概要について説明がありました。 
13:00	挨拶	午後の部（発表会・交流会）の開会に先立ち、会場校の和光市立第三小学校校長より、第三小学校の成り立ちと子どもたちの発表をとおして、川について共に考える良い機会となれば嬉しいとの挨拶がありました。 
	発表会 発表（前半） コメント 質問	発表会（前半）は自由学園高等科より「自由学園に生息するヌマエビ」、川越市立福原中学校より「不老川はきれいかな?」、狭山市立御狩場小学校より「とび出せ! 御狩場探検隊 パート」の発表がありました。 
14:00	発表会 発表（後半） コメント 質問	発表会（後半）は和光市立第三小学校より「5年理科『流れる水のはたらき』の学習を通して」、和光市立第五小学校より「白子川の水について、メダカについて」、法政大学水文地理学研究室より新河岸川流域を対象とした水質に関する研究、早稲田大学理工学部より地下水涵養と自然生態系の関係に関する発表がありました。 
15:00	交流会 クイズラリー/ パネルセッション	今回は12回目の発表会で、新河岸川流域川づくり連絡会事務局では、これまでの11回の発表会をふりかえる写真展を展示しました。会場内には、流域学校や川づくり団体による取り組みをまとめた力作ぞろいのパネル展示がありました。さらに、参加いただいた方々に水循環・総合治水について理解していただくため、事務局による「洪水防災に関する学習」「雨水浸透実験」のブースが設けられました。また、法政大学水文地理学研究室による「正しい水質調査の方法」や水との関わりを歴史を繋ぐ企画として「流域誌をつくろう!」を実施し、多くの方にご参加いただき、賑わっておりました。 
		クイズ答え合わせ/表彰状授与/総括 荒川下流河川事務所長より、各発表校の代表者へ表彰状が授与されました。表彰状授与の際は、少々緊張気味の顔つきも受け取り後はみんなとても満足そうでした。最後に、新河岸川水系水環境連絡会より、「流域で活動しているみなさんが継続的に活動し、つながっていくことが大切です。」という挨拶がありました。 
16:00	閉会	
	記念撮影	恒例の記念撮影は、学校や世代を越えてつながる一体感を感じさせる一コマでした。発表会にご参加・ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございます。 



発表校紹介

じゅうがくえんこうとうが
自由学園高等科

自由学園の池に生息するヌマエビ



自由学園からは、日々の活動の様子や自由学園校内の池に生息するヌマエビの調査結果について発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『自由学園男子部高等科 川グループでは学園内を流れる立野川の水温・流量測定と気象データのチェック、草刈り、特定外来種であるオオカワヂシャの駆除などを実施しています。また、川管理グループでは全国一斉河川調査・新河岸川水系一斉河川調査に17年間にわたって参加しており、今年度は2016年6月5日に落合川、立野川をはじめ、ちかくの河川水の水質調査を実施しました。今回の発表タイトルにもあるとおり、自由学園内の池にはヌマエビが生息していますが、これらは3年前に誰かの手によって約50匹放たれたと言われています。これらのヌマエビが在来種であるのか、外来種であるのかを調べたいと思ったのが今回の発表のきっかけです。自由学園には7つの池があり、これらを調査したところ、6つの池でヌマエビが確認されました。ヌマエビは目が付いている方向で在来種か外来種かを調べることができます。目が真横に付いているのがヌカエビ(在来種)、斜めに付いているのがカワリヌマエビ(外来種)です。この方法によってヌマエビを調べた結果、女子部の2つの池にだけ在来種が生息し、残りの4つの池に生息するのは外来種で、池によって種類が違ってもわかりました。3年前に誰かが放ったエビの種類は特定できませんでしたが、2つの池に生息する在来種を守っていく必要があると感じました。』

かわごえしりつふくはら
川越市立福原中学校

ふるうがわ
不老川はきれいかな？



川越市立福原中学校からは、家の近くを流れる不老川の水のきれいさを調べた結果について発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『今回の調査のきっかけは、家の近くを流れる不老川が小さい頃に比べてきれいになったと感じ、どれくらいきれいなのかを調べたいと思ったからです。調査1では、不老川、新河岸川、風布川のCOD値を調査し、比べてみたところ、不老川のCOD値の評価は「汚れている」で、雨の後は「やや汚れている」でした。調査2では、生活排水が不老川をどれくらい汚すのかを調べるため、採水した不老川の水にコーラ、しょうゆ、油、洗剤を加え、COD値を測定しました。調査3では、川の水をきれいにする方法として、浄化装置を作成し、浄化前後でCOD値の変化を測定しました。日本一汚れていると言われていた不老川がどのようにしてきれいになったのか、昔の不老川を知っている人に聞いてみたところ、下水道の管理や地域の人々でのゴミ拾い、草刈りといった取り組みが行われたことを知りました。今回の調査で、きれいだと思っていた不老川がやや汚れていることに驚くと同時に、生活排水によって一度汚れた水を浄化するのは大変であることを学びました。地域の方の努力で日本一汚いと言われた不老川がここまできれいになったので、なるべく排水を出さない工夫や不老川にいる魚たちの住みやすい環境作りなど、私自身もきれいな不老川を守る取り組みをしていきたいと思いました。』



さやましりつみかりば
狭山市立御狩場小学校

とび出せ！！御狩場探検隊パート



狭山市立御狩場小学校からは、総合的な学習の時間に学んだ不老川の環境について発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『昨年ねんしは主に不老川の歴史について学びましたが、今年ことしは不老川についてさらに詳しく調べてみました。まず、山王塚市民緑地さんおうづかしみんりょくちや不老川へ出かけて現地調査を行いました。現地調査では、カモやヌマエビ、多様なきのこなどたくさんの生物や植物を見つけることができた一方で、川にごみが捨てられているのも発見しました。これらの現地調査結果をもとに、グループ毎に研究テーマを設定し、授業参観じゅぎょうさんかんでの発表を目指して研究を実施することにしました。研究テーマは(1)魚について(2)プランクトン(3)川全体について(4)雑木林ぞうきばやしについて(5)ごみについての5つです。(1)魚については、不老川でヌマエビやオイカワを捕まえ、体長の計測や捕獲数の変化などを整理しました。(2)プランクトンでは、理科室で顕微鏡を用いて観察し、図書館で図鑑で調べました。(3)川全体では、不老川と水道水で水質の比較などを行いました。(4)雑木林については、9月～12月の調査中における植物の成長・変化を記録しました。(5)ごみについては、ゴミ拾いを行い、日にち別のごみの量を比較した表を作成しました。研究テーマについては、2月24日(金)に研究発表会も開催する予定です。来年は最上級生となるので、御狩場小学校のリーダーとしてみんなを引っ張ることができるよう、頑張っていきたいと思います。』



コメンテーターによるコメント

じゅうがくえんこうとうか
自由学園高等科

川づくり・清瀬きよせの会より

- ・グループで分担して調査をして、てっていき徹底的に細かいところまで調べていたことが素晴らしいです。

くろめがわりゅういき
黒目川流域川づくり懇談会より

- ・ヌマエビが50匹放流されたと聞いた時に、それがざいらいしゅ在来種かがいらいしゅ外来種か気になったことが素晴らしいです。また調査にあたって、本やインターネットで自分たちで調べるだけでなく、実際に経験のある先輩たちと一緒に調査したのも良かったことです。徹底して調べる姿勢を大切に今後活動に活かしてくれればうれしいです。

かわごえしりつふくはら
川越市立福原中学校

川づくり・清瀬の会より

- ・昔は汚かった川をキレイにする大切さを実感し、川をキレイにしましょうとはっしん発信できていたことが素晴らしいです。お一人で活動していると聞いて驚いています。是非この活動を続けていってください。

黒目川流域川づくり懇談会より

- ・不老川ふるうがわについて疑問に思ったことを昔を知る人に尋ねたということが素晴らしいです。
浄水場じょうすいじょうや自然浄化しぜんじょうかの仕組みを調べたいことや生活排水を出さないという話を聞いて、とても嬉しくなりました。

さやましりつみかりば
狭山市立御狩場小学校

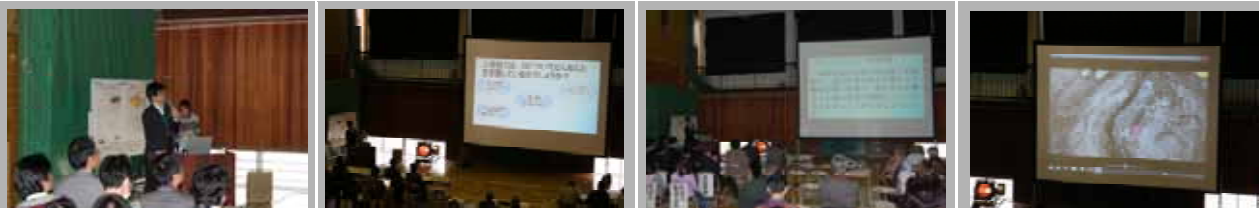
川づくり・清瀬の会より

- ・グループごとに研究テーマを決め、外に出て調査を行いゴミが落ちているのを見て、「川をキレイにしなきゃいけないんだ！」という意識をもったことが素晴らしいです。



わこうしりつ
和光市立第三小学校

5年理科「流れる水のはたらき」の学習を通して



和光市立第三小学校からは、小学校で川についてどういった学習をしているかに関する発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『小学校では各学年で川について色んなことを学んでいます。内容は「4年社会科 上下水道」、「5年総合 環境問題」、「5年理科 川の流れるのはたらき」、「6年理科 生き物と環境」といった形です。今回は「5年理科 流れる水のはたらき」についてご紹介します。「流れる水のはたらき」では、地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、土地の変化との関係について考えをもつことができるようになることを目標としています。具体的な学習手順は、洪水発生時の川の写真から流水の働きを予測、実験計画を立てる、実験を行い、その様子を録画、実験からわかったことをグループ毎に発表といった形式で行います。特に実際の川を砂場で再現して実験することで、流水の働きによって土地や護岸の浸食、土砂の運搬・堆積、大雨時の流量増水による影響などを多く学ぶことができます。また、授業の中では荒川の様子や、防災対策に関する動画の視聴も行っています。6年生では生物と環境について学習し、より川に対する理解を深めていく予定です。』

わこうしりつ
和光市立第五小学校

しらこがわ
白子川の水について、メダカについて

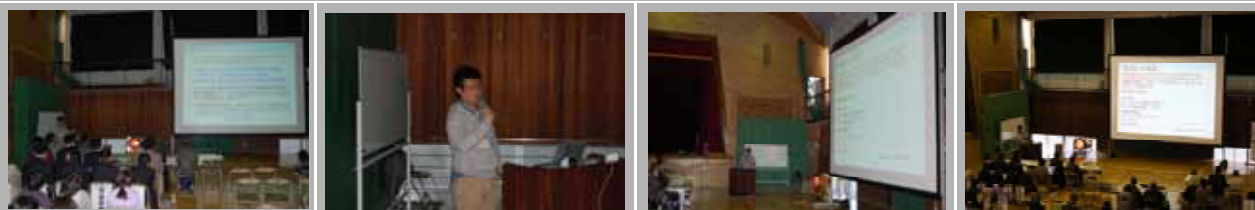


和光市立第五小学校からは、3班に分かれ、白子川の水やメダカについて調べた結果とそれらにまつわるクイズが発表されました。具体的には以下の説明がありました。『1班目の発表はメダカのひみつについてです。メダカはアジアの淡水に生息し、水温18以上の4月～10月に産卵します。メダカは小さな昆虫や動物プランクトンを食べて生活しており、ひと夏で約2000個の卵を産みます。また、背びれの切れ目でオスかメスかを判断でき、背びれに小さな切れ目がある方がオスとなります。2班目の発表は白子川の水についてです。「しずこちゃんのものがたり」という紙芝居をで、水循環の過程やごみ問題について発表します。食器についた油はゴムベラかキッチンペーパー、新聞紙などで拭くと効果的です。また、使用済みの油500mlを魚が住める水質に戻すには浴槽330杯が必要であり、油は揚げ物に約10回程度使用可能です。3班目の発表は川の水をきれいにする方法についてです。川の水の汚れは生活排水が原因となります。生活排水対策として、流しの排水口に目の細かいストレーナーを設置し、水切りネットの代わりに不用となったガーゼやストッキングも利用できます。食器を洗う前に、汚れをある程度ふき取ってあげることも効果的です。きれいな川を守っていくには、自分たちから汚れた水を流さないようにする努力が不可欠です。また、人間が自然を壊せば、それらはすべて人間に返ってくることを学びました。』



ほうせいだいがくすいもん ちりがくけんきゅうしつ
法政大学水文地理学研究室

みじか みずかんきょういっせい ぶんせき しんがしがわりゅういき ちいきとくせい
身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性(5)



法政大学水文地理学研究室からは、新河岸川の水環境や 2016 年の調査結果について発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『流域の水環境の変化や現状の把握、水質改善の対策をたてるには継続的な調査が必要です。そこで新河岸川流域では連絡会に属する団体で行われてきた「全国身近な水環境一斉調査」に合わせて現地調査を行い、流域の水環境と地域特性の把握を目指しています。当研究室では、今年も引き続き連絡会の協力を得て、2016 年 6 月 5 日に行われた調査で採水された水のサンプルを提供して頂き、分析を行いました。測定項目は pH (水素イオン濃度)、EC (電気伝導度)、TOC (全有機炭素) 主要溶存成分で、今年度は新たに SiO₂ (シリカ) の測定し、項目毎に分布図を作成しました。また、過去 4 回分の調査結果の違いの主たる原因は、調査日やその直前の降雨などの天候の影響によるものであると考えて、流域の数カ所に調査日を挟む 2 週間、自記録計を設置して水温と EC (電気伝導度) の時間的な変化を測定して考察を実施しました。その結果、水温の変化には降水の影響がほとんどないことなどがわかりました。2013 年～2016 年にかけて調査を継続したことで水質の地域特性や経年変化がある程度明確になった一方で、まだ分析できていない地点があるのは残念です。サンプル地点を増やして、分析できていない地点をカバーできるよう、今後もより一層連絡会との連携を深めていきたいです。』

わせだだいがくりこうがくぶ
早稲田大学理工学部
林・池・川・ホタル



早稲田大学理工学部からは、早稲田大学の保全湿地で行った調査結果について発表がありました。具体的には以下の説明がありました。『早稲田大学保全湿地では、トウキョウサンショウウオの卵の他、ヘイケボタルなど 77 の準絶滅危惧種が確認されました。保全湿地内では林床植生調査も実施していますが、これらは源流部をしっかりと調査する必要があります。緑の森博物館所沢市域八幡湿地ではクヌギ、コナラの萌芽再生が確認され、また毎年ホタルも多数見られるため、数年に一度は池の浚渫 (かい掘り) を実施しています。首都圏の緑の孤島と言われる狭山丘陵の貯水池は保護区とされており、多様な生息環境を持ちます。通常、湿地は地下水により涵養されるため、地下水位が低下すると湿地で乾燥化が発生します。一雨ごとの降水量と流出量の関係を整理したところ、早稲田大学内の湿地では雨の 89% が一度地下水として蓄えられ、ダムのような働きをしていることがわかりました。今後は、よくわからない事象に対して調査を繰り返しながら行う順応的管理、また、自然生態系が持つ様々なはたらきのうち、人間環境に恩恵をもたらす生態系サービスについても考えていく必要があると思います。』



コメンテーターによるコメント

和光市立第三小学校に対するコメント

白子川と流域の水環境を良くする会より

- ・和光市では現地を見て回ると、新たな気づきがある地点が多いです。是非子どもたちを連れて行くと良いと思います。
- ・第三小学校は川から程遠い立地ですが、各川で活動している市民団体がありますので、是非連携をとり、子どもたちが川での活動を体験できる機会を提供してくれればと思います。

和光市立第五小学校に対するコメント

白子川と流域の水環境を良くする会より

- ・3班に分かれたことで、それぞれが学んだことをより詳しく説明してくれて、とても分かりやすい発表でした。
- ・実際に生物に関わりながら観察していくことが大事です。白子川にいる身近な生物についてもっと調べていくと良いと思います。
- ・発表で出していただいたクイズの答えについても本当にそうなるのか、インターネットや本で調べるだけでなく、実際の体験をとおして確かめてください。

法政大学水文地理学研究室に対するコメント

和光自然環境を守る会より

- ・3年ほど水質調査に協力させて頂いて、水質調査で得られるデータの意味が我々にも徐々に分かりはじめてきました。
- ・水質調査で得られた結果がわたしたちの生活にどのように結び付けられるか分かると良いと思います。
- ・若い学生のみなさまには、社会人になった後にもこのような活動に関わってくださると嬉しいです。

早稲田大学 理工学部に対するコメント

和光自然環境を守る会より

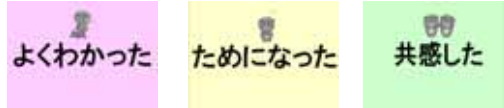
- ・狭山丘陵で行われている活動について説明していただき、とても勉強になりました。
- ・学生たちが今後も川に関わっていくためには、どのようなことが必要なのか共に考えてくれればと思います。







感想カード

各団体の発表の後、参加者のみなさんには、事務局が準備した感想カードから発表への感想に最も近いものを選んでいただき、発表者に向けて掲げていただきました。

<事務局が準備した感想カード>



<p style="writing-mode: vertical-rl;">自由学園高等学校</p>	<p><多かった感想></p> <p style="text-align: center;">よくわかった</p> 	<p style="writing-mode: vertical-rl;">川越市立福原中学校</p>	<p><多かった感想></p> <p style="text-align: center;">よくわかった 共感した</p> 
<p style="writing-mode: vertical-rl;">狭山市立御狩場小学校</p>	<p><多かった感想></p> <p style="text-align: center;">よくわかった ためになった 共感した</p> 	<p style="writing-mode: vertical-rl;">和光市立第三小学校</p>	<p><多かった感想></p> <p style="text-align: center;">よくわかった</p> 



<p>和光市立第五小学校</p>	<p><多かった感想></p> <p>ためになった 共感した</p> 	<p>法政大学水文地理学研究室</p>	<p><多かった感想></p> <p>ためになった</p> 
<p>早稲田大学理工学部</p>	<p><多かった感想></p> <p>ためになった</p> 		



現地見学会

白子川周辺を散策し、白子の歴史、湧水地、総合治水対策の概要を紹介！



熊野神社入り口



熊野神社



開運洞窟めぐり



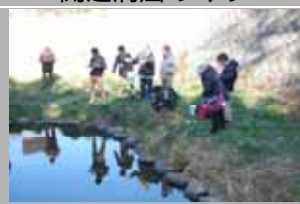
富澤湧水



白子橋



大坂ふれあいの森



湧く湧くパーク



湧く湧くパーク

現地見学会では、和光市立第三小学校を出発して、熊野神社、富澤湧水、大坂ふれあいの森、白子橋、湧く湧くパーク（向山調節池）を巡りました。各地点では、白子川と流域の水環境を良くする会、埼玉県朝霞県土整備事務所、和光市役所の方々に、ご説明いただきました。

白子川と流域の水環境を良くする会と巡った熊野神社では、湧き水が豊かな地域であったこと象徴として、明治時代には日本で初めての養魚場があったことや、併設されている不動院では、熊野神社裏の池に湧き水をためて滝修行が行われていることなど、湧き水と地域のつながりについて説明がありました。途中、不動院にある開運洞窟めぐりも体験しました。白子橋では、白子川に流れ込む湧き水を見ながら、白子川が今も見ることができるよう整備されたことや、白子川に注ぐ湧き水の維持・水循環・生き物との共存の重要性について説明がありました。白子橋では、近くに住んでいた白子ゆかりの詩人“清水かつら”作詞の「くつが鳴る」の碑を橋のそばに見ることができました。富澤湧水では、年平均で1秒間に約15L（和光市民の使う水の約5%にあたる量）の豊富な湧き水が出ていること、周辺の崖地の緑を守っていく場所（特別保全緑地）に指定されたことや、多様な生き物がいることなどの説明がありました。参加者は湧き水に触れ、この時期にしては温かい温度であることを確認していました。

和光市役所の方と巡った大坂ふれあいの森では、市街地において貴重な動植物が生息する数少ない自然があることや、それらを保全する緑地として土地所有者から借りていること、地域の市民団体の活動の場であること、関東ローム層などの地層を見ることができ、和光市では水道水の一部に湧き水を使っていること、などの説明がありました。途中、森の中にあった井戸の中を参加者みんなでのぞきました。また参加者からは、森の中の植物や湧き水の多い時期など、さまざまな質問が出されていました。

湧く湧くパーク（向山調節池）では、朝霞県土整備事務所の方から、集中豪雨などで白子川の水量が増したとき、一時的に雨水をため洪水を防ぐ機能があることや、地域で水を貯めたり、地面にしみ込ませることも川の水位が上がりすぎるのを防ぐことになること、このような対策を合わせた総合治水対策を行っていること、川に触れることができ、生き物が住める場所として整備していることについて説明がありました。白子川と流域の水環境を良くする会からは、川に興味を持ってもらうため、アユの放流やゴミ拾いや草むしりなどの市民活動を行っていることについて紹介がありました。各見学地点を巡る道中では、いたるところで湧き水が流れている場所が見られ、湧き水を身近に感じられる現地見学会でした。



交流会（パネル展示・クイズラリー・適切な水質調査の方法・雨水浸透実験・洪水防災に関する学習ブース・流域誌をつくろう！）

水や川・環境に関わる各団体の活動を展示！交流ブースも充実！



パネル展示など

パネル展示では、これまで実施してきた 11 回分の発表会のようすをふりかえる写真展を掲示しました。また、新河岸川流域川づくり連絡会に参加いただいている市民団体や発表会にいただいている学校から、それぞれの取り組みまとめた力作ぞろいのパネルが展示されました。また、今年の交流ブースでは、「雨水浸透実験」「正しい水質調査の方法」に加えて、洪水から避難する時に役立つ便利グッズの作成をとおして洪水防災に関する学習できる企画や、自分の水との関わりを呼び戻し、歴史をつなぎ合わせる企画「流域誌をつくろう！」を実施し、子どもから高齢者まで世代を超えて、交流を楽しむことがきました。



交流会（クイズ答え合わせ・表彰状授与・総括）

発表とパネルに関わるクイズ！発表者の活動を讃えた表彰式！



クイズ答え合わせ

クイズの問題を作成していただいた参加校の方から、クイズの答えの発表や解説などを実施していただきました。問題は発表を聞いていれば、回答できる内容となっており、みなさんほとんどの問題に正解しておりました。

表彰状授与

発表会の最後には、表彰状授与式および総括が行われました。荒川下流河川事務所長より、「川で“つながる”発表会とあるように、色々な人と接して交流を深めることをお願いするとともに、川“で”つながるだけでなく川“と”つながっていただいて、よりよい川づくりに一緒に取り組んでいただければと思っています。」と挨拶し、各発表校の代表者に対して、賞状の授与が行われました。

総括

新河岸川水系水環境連絡会より、「午前中の現地見学会は、湧き水の名所をまわりまして狭山丘陵に行かなくても、街の中から川が生まれているというのが見えたと思います。小学生の発表で印象に残っていたのは、地域の人に色々教わっているということでした。また、中学生から高校生・大学生・社会人となってくると、なかなか活動ができなくなりますが、最後には地域に戻ってくる人がいたら良いなと思っております。本日の発表会のように、日頃さまざまな活動をしている人が何かの縁で集まって互いの活動を発表する場を、今後も続けていければ良いと思っております。」という総括をいただきました。



パネル展示の様子

展示いただいた団体

かわごえしりつぶくはら
川越市立福原中学校

きたくりつうきま
北区立浮間小学校

しらこがわ
白子川と流域の水環境を良くする会

グリーンフォレスト・ネットワーク ところざわ 所沢

かわごえ みりよく
川越の魅力育てる会

うすいちよりゅうしんとうぎじゅつぎょうかい
(社) 雨水貯留浸透技術協会

あらかわ
荒川下流河川事務所

さやましりつみかりば
狭山市立御狩場小学校

しんがしがわすいけいみずかんきょうれんらくかい
新河岸川水系水環境連絡会

しらこがわげんりゅう みずべ
白子川源流・水辺の会

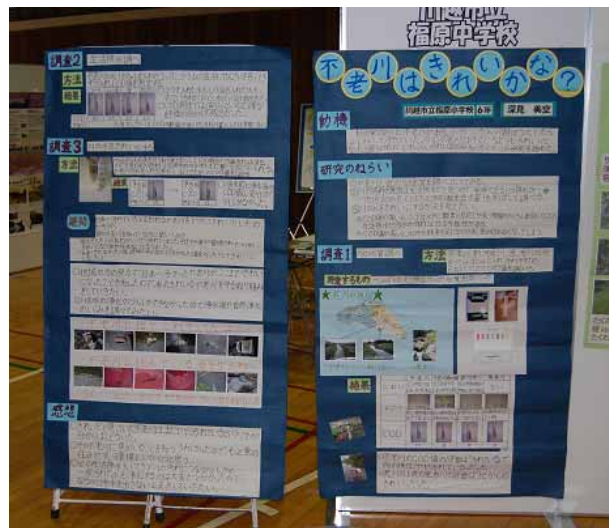
NPO 法人エコシティ しき 志木

ふるうがわりゅういき
不老川流域川づくり市民の会

わこうし
和光市

しんがしがわりゅういき
新河岸川流域川づくり連絡会

(順不同)



川越市立福原中学校



狭山市立御狩場小学校



北区立浮間小学校



新河岸川水系水環境連絡会



白子川と流域の水環境を良くする会



白子川源流・水辺の会



グリーンフォレスト・ネットワーク所沢



NPO 法人エコシティ志木



川越の魅力を育てる会



不老川流域川づくり市民の会



和光市
(社) 雨水貯留浸透技術協会



荒川下流河川事務所

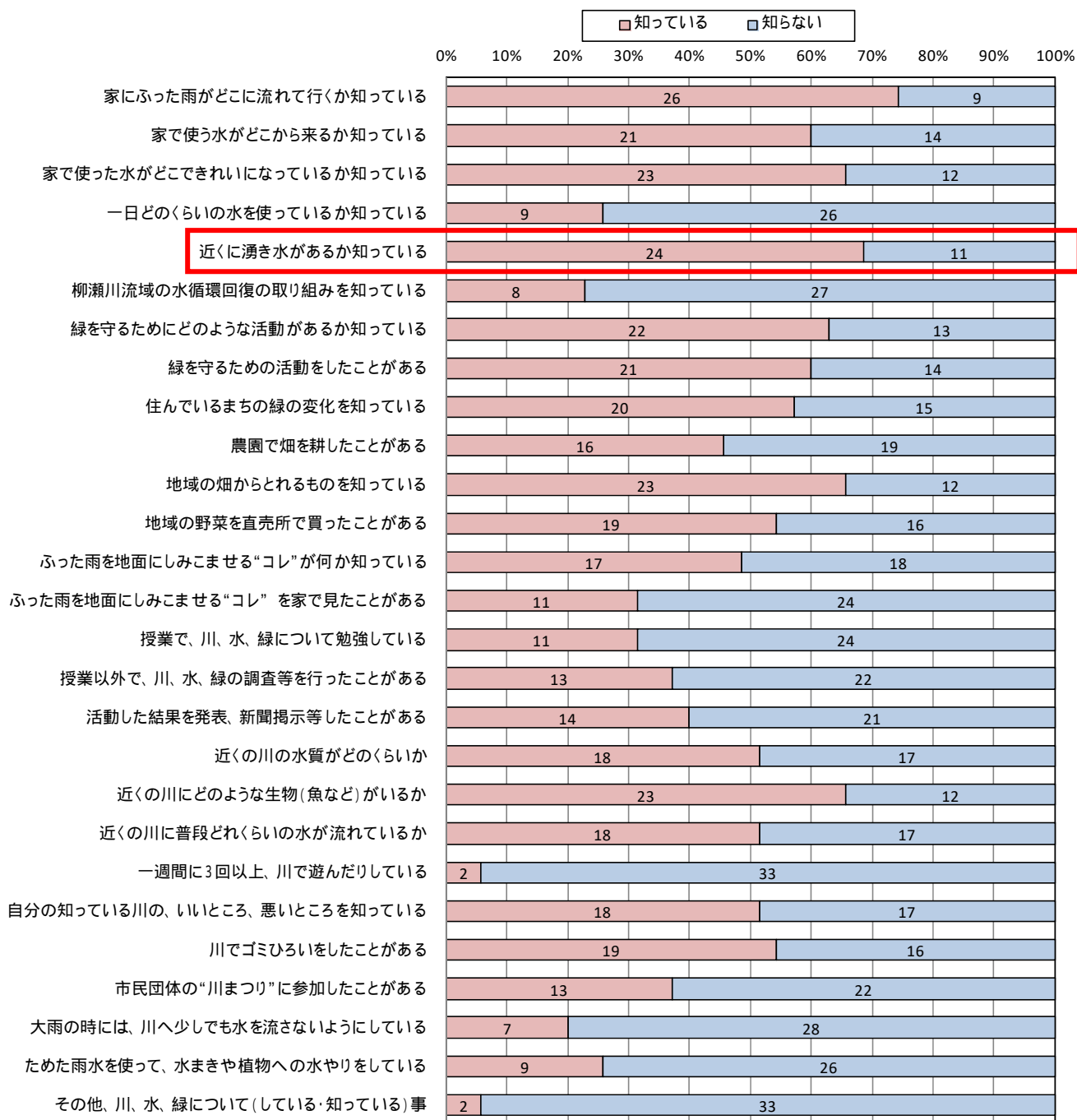


新河岸川流域川づくり連絡会



新河岸川流域水循環再生検定試験（学生版）結果

参加者の方々が、「水循環再生についてどのくらい知っているか?」、「水循環に関する活動をどのくらいしているか?」について回答いただいた「新河岸川流域水循環再生検定試験（学生版）」は以下のような結果となりました。



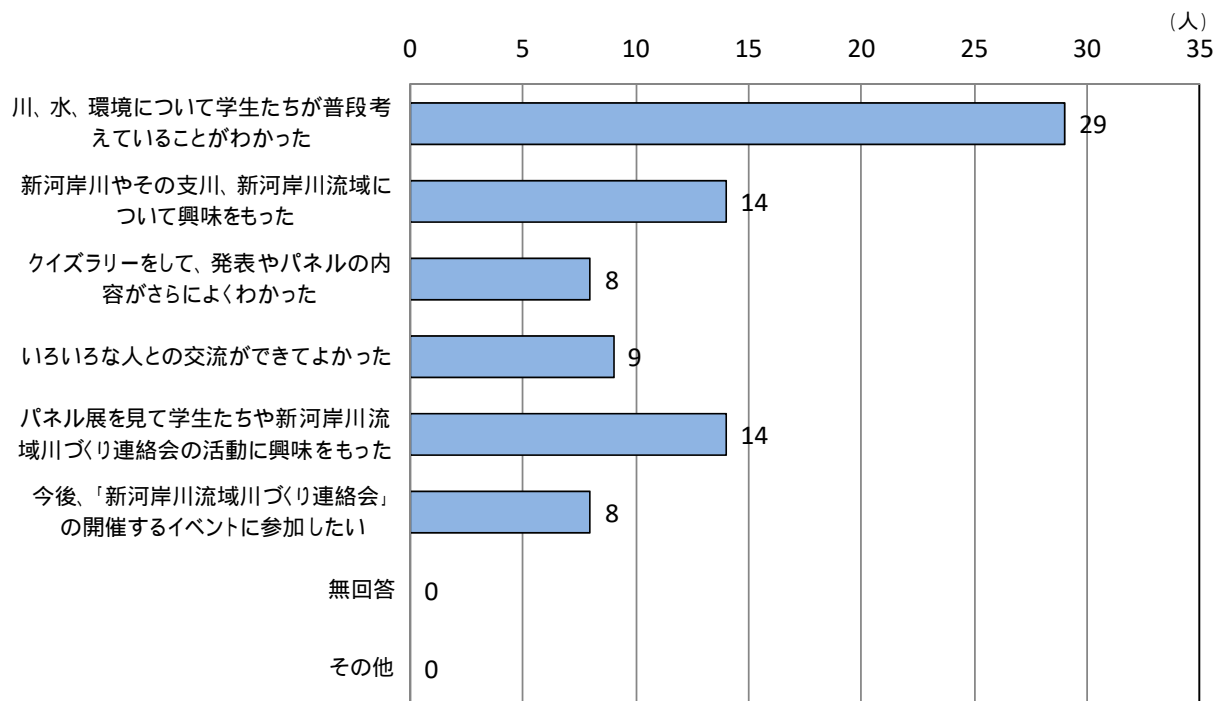
35名の中で24名の方が、近くに湧き水があるのを知っていました。特に、白子湧水群がある和光市在住の方9名のうち、7名も知っており、地域の湧き水がしっかり認知されていることが分かりました。

地域特性も影響するが、日常的に川遊びをする人が少ないことが分かりました。



発表会を終えて（アンケート結果）

発表会についてどのような感想をおもちになりましたか？



参加者の声

若い方たちの発表が面白く興味深いものでした。

自分たちの発表以外のことも知れて良かった。

子どもの頃から川に関心を持って、川、水、環境の大切さを学ぶことは大切で将来につながる。

発表という目的をもった調査まとめ発表という過程を踏む事は、発表者を成長させるものである。発表者の将来が楽しみだ。

いろいろな人の活動内容や考えていることが知れて良かった。

いろいろな川のことが分かるので、発表会があることは良いことだと思う。



みなさん、本当にありがとうございました。発表会を通じて、新しく知ったことや新たなつながりを流域全体へとつなげていきましょう。

